

はじめに

運輸事業は、我が国の物流や人流を支える基幹産業として経済活動の発展や国民生活の質的向上に大きな役割を果たしており、社会生活を維持するうえで必要不可欠な存在です。その一方で、地球温暖化問題をはじめとする地球的規模の環境問題の解決が迫られる中、運輸事業における環境負荷の問題も依然として改善を進めなければならない重要な課題です。

かねてより交通エコロジー・モビリティ財団では、日本財団からの助成金を受けて、国土交通省のご指導のもと日本バス協会及び多くの関連協会・団体のご協力も得て、環境負荷を減らすと同時にその活動を積極的に事業運営に生かすことを目的としたグリーン経営を推進してまいりました。

環境保全を企業の経営に生かすための手法としては、環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 がありますが、運輸事業への適用は容易ではなく、さらに認証取得までを目指す場合には経済的・人的負担も大きなものになります。これらの実情を踏まえたうえで、より身近な環境経営の仕組みとしてグリーン経営は構築されたものです。

<グリーン経営の特徴>

- ・運輸事業に特化した仕組みであること
- ・中小規模の事業者が取り組みやすい内容であること
- ・その取組は環境面と経営面における実効が期待できること
- ・当財団が認証機関となる第三者認証制度を有すること

グリーン経営が目指しているのは、カーボンニュートラルも視野に入れた運輸事業における環境負荷の低減と、運輸業界の活性化と発展です。グリーン経営を推進するうえでの指針となる本マニュアルが環境保全と事業運営の両立を志す運輸事業の皆様のお役に立つことができれば幸いです。

2025年3月

目 次

はじめに

グリーン経営の進め方

第1章	グリーン経営とその必要性	3
第2章	グリーン経営の進め方	5
第3章	「グリーン経営推進チェックリスト」の概要と使い方	7
第4章	グリーン経営推進チェック項目	13

グリーン経営認証制度

第5章	グリーン経営認証制度について	37
第6章	審査申請関連	39
第7章	認証基準の解説及び取組事例	75